

◆ 二頭以上の胎子がいる場合

- 分娩と分娩との間(陣痛が起きていないとき)は時間がかかる場合もあります。
- 陣痛がきていて、1~2時間しても胎子が産まれてこないときは病院へ連絡して下さい。

🌸 **出産直後** 全部の胎子が産まれて、胎子の呼吸や大きさなど確認して母犬も落ち着いたら、母犬の元へ子犬をもどして初乳を吸わせて下さい。

◆ 胎子の確認ポイント 体重や雌雄のほかに、次のような点がないか確認してください。

- 口唇裂(上唇が割れている)
- 口蓋裂(上あごが割れている)
- 後肢に狼爪(親指)がある
- 臍ヘルニア(でべそ)、鼠径ヘルニア、直腸脱など



🌸 **出産後**

◆ **断尾** 断尾は生後2、3日で行います。断尾が必要となる犬種としてはヨークシャテリア、シュナウザー、コーギー、プードル、コッカー、ドーベルマンなどがあります。

◆ **ワクチン接種**

生後1~2ヶ月は、初乳による移行抗体のため母親の免疫に守られております。しかしその後は免疫が落ちてくるので、伝染病にかかりやすくなります。混合ワクチンを接種して予防しましょう。

※ 1回目生後2ヶ月、2回目生後3ヶ月が目安。その後は毎年1回追加接種

🌸 **分からない事があれば、病院へ電話して下さい。**

まえだ動物病院 0587-24-3380

● 午後9時~午前2時の緊急時には、以下の所へご連絡ください。

夜間動物緊急診療所 052-263-9911



妊娠・出産! Part 2

暑い日が続きますが、飼い主さんもペットちゃんも健康に過ごさせていますか? 皮膚病や消化器疾患、熱中症に注意して、元気に夏を乗り切りましょう!

さて、今回は前回に続いて「妊娠・出産」についてです。愛犬の出産がせまってきました…!



🌸 **分娩** 陣痛が起こり、胎子が娩出されます。その際、破水(透明な液体です)も起こります。

◆ 胎子がでてきたら

- ① 母犬から離し、羊膜に包まれているので、羊膜を破って胎子を取り出す。
- ② 胎盤が排出されたか確認してください。“胎盤の数=胎子の数”です。母犬が胎盤を食べると下痢や嘔吐をすることがあるので、食べさせないようにしましょう。
- ③ タオルで胎子を拭き、口内、鼻の中の液体を取って呼吸を促します。
- ④ 呼吸が浅いとき、鳴き声が聞こえないときは体もマッサージしてあげて下さい。鼻の中、口の中にある水分をなくすために弓なりに胎子を振ってあげてください。
- ⑤ へその緒は体側から1cmくらい離れたところを糸で縛って、胎盤側をはさみで切ってください。